



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



2025年度

近畿ブロック・ユネスコ活動研究会in長浜

概要版



開催テーマ

『平和の文化・持続可能な地域づくりをめざして』
学び合い・つながり合いで、

民間ユネスコ活動を広げ深めよう

期日: 2025年10月26日(日) 開会10:30

会場: 長浜文化芸術会館

(長浜市大島町37 TEL:0749-63-7400)



私のまちの宝もの 長浜城・びわ湖・アシ

主催: 公益社団法人日本ユネスコ協会連盟/
近畿ユネスコ協議会 / 長浜ユネスコ協会(主管)
共催: 長浜市
後援: 滋賀県 / 滋賀県教育委員会 / 長浜市教育委員会

参加費: 3,500円 (青年: 1,500円)
(弁当代含む)

*一般の方の参加歓迎
(無料・弁当無し)

開催趣旨

私たちの身近な生活の中にもSDGs・「持続可能」という言葉や各方面での取り組みを知る機会が増えてきました。滋賀県でも、MDGs・SDGsの琵琶湖版1)として、琵琶湖を切り口としたMLGsへの取り組みも始まっています。

人類の未来が「持続不可能な社会」にならないためにも、近畿の水瓶である琵琶湖を保全していくためにも、私たちの住む町が、平和で持続可能な地域であり続けるためには、先ず私たち一人ひとりが自分事として取り組めることや取り組むべきことにはどのようなことがあるのでしょうか？

また、過去から、先達からどのようなことを学び、受け継いで次世代に繋ぎ、或いは、新しい価値を見いだしていく必要があるのでしょうか？

「平和の文化」の創造と「持続可能な地域づくり」をめざして、草の根・市民レベルで実践している様々な事例や課題について学び、地域での今後のユネスコ活動のあり方等を話し合しましょう。皆様の多数のご参加を期待しています。

*MLGs…13のゴールからなる「マザーレイクゴールズ（MLGs）アジェンダ」（2021.7.1策定）

日程

9:45 受付

10:30 開会式

主催者挨拶：(公社)日本ユネスコ協会連盟近畿ブロック代表理事/近畿ユネスコ協議会会長

来賓祝辞：滋賀県教育委員会教育長 / 長浜市長

11:00 基調講演

演題 「人の暮らし方で地球は変わる

あなたはどうか生きますか？」

講師 澁澤寿一氏

(NPO 法人 共存の森ネットワーク理事長)



写真提供：澁澤寿一氏

講師略歴

1952年生まれ。国際協力機構専門家としてパラグアイに赴任後、長崎オランダ村、ハウステンボスの企画、経営に携わる。全国の高校生100人が「森や海・川の名人」をたずねる「聞き書き甲子園」の事業や、各地で開催する「なりわい塾」など、森林文化の教育・啓発を通して、人材の育成や地域づくりを手がける。岡山県真庭市では木質バイオマスを利用した地域づくり「里山資本主義」の推進に務める。明治の実業家・澁澤栄一の曾孫。農学博士。世田谷区教育委員(2012～現在)。
近著『人は自然の一部である』(2023 地湧の杜)
『森と算盤 地球と資本主義の未来地図』(2024大和書房)

12:00～13:00 【昼食・休憩 / 12:45～長浜市立長浜小学校合唱団発表】

13:00 報告

日本ユネスコ国内委員報告/ (公社)日本ユネスコ協会連盟報告/ 青年評議員報告

13:50 分科会 (事例発表 / 意見交流 会場：2階)

第1分科会「多文化共生の推進」 第2分科会「世界遺産・地域遺産の継承」

第3分科会「平和の文化の実践」

15:10 パネルディスカッション

「民間ユネスコ活動を広め深めよう！ ～研究会を振り返って～」

16:20 閉会式

次回開催地アピール(大阪府ユネスコ連絡協議会) / 閉会挨拶・閉会宣言

分科会

限られた時間ですが、事例発表やグループ別協議を通してお互いが学び合い、交流を深める機会にしましょう。

第1分科会

「多文化共生の推進」

地域の国際化が急速に進んでいる今日、外国人市民が日本人市民と共にいきいきと暮らせる多文化共生のまちづくりが求められています。

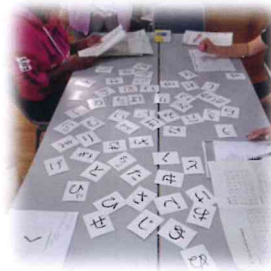
コミュニケーション・生活支援や他団体との連携、異文化理解などについて、共生・（社会的）包摂の視点も踏まえ、共に話し合い、考える機会にしましょう。

事例発表：「市民ボランティアによる 日本語教室の歩み・30年」 （長浜市：長浜ユネスコ協会日本語教室）

【報告の要旨】

長浜ユネスコ協会は設立以来、時代の変化に即した国際化への対応として、オーストラリアへの高校生派遣や英会話教室、日本語教室などに取り組んできました。

今回は、現在までの30年間、会員や市民ボランティアによって運営してきた日本語教室の歩みや現在の教室の様子、成果や運営上の課題などについて報告します。



事例発表：「地域遺産部の活動」

（天理市：天理ユネスコ協会）

【報告の要旨】

天理ユネスコ協会地域遺産部の主な活動は、「わたしの町のたからもの絵画展」と「わが町、天理の歴史遺産についての研修」などです。

わたしの町絵画展への出品作品に関する分析から小中学生の「わたしの町のたからもの」へ取り組む姿勢に触れた後、天理の歴史遺産を巡る現地研修の実践報告を行い、活動の問題点や課題を明らかにしていきます。



第2分科会

「世界遺産・地域遺産の継承」

私たちが住む地域には、地域の独自性を象徴する様々な地域遺産（地域のたからもの）があります。これまでの活動の成果や課題を踏まえ、地球や地域のたからものを保護し、次世代に継承する意義や方法についてESD/SDGの視点も踏まえ共に話し合い、考える機会としましょう。

第3分科会

「平和の文化の実践」

日本ユネスコ協会連盟は、ミッションの一つとして「平和の文化」の構築を掲げ、寺子屋運動・遺産運動はじめ様々な「平和の文化」の取組を実践し、平和の心や平和の文化を築く力を育んできました。民間ユネスコ活動で取り組んできた「平和の文化」について、ESD/SDGsなど様々な視点で振り返り、更なる実践について共に話し合い、考える機会としましょう。

事例発表：「平和の鐘」時鐘会の取組

和歌山市：和歌山ユネスコ協会

【報告の要旨】

和歌山ユネスコ協会は設立時(1948年)、8月15日を「争いなき日」と定め、せめて今日一日だけでも世界で争いがないようにと願って、岡山の時報堂で打鐘会を続けて今日に至ります。

全国のユネスコ協会でも、平和の鐘を鳴らそうイベントとして、取り組まれていますが、打鐘会のこれまでを振り返り、成果や課題についても報告できればと思います。



パネルディスカッション

前半は、各パネラー（分科会アドバイザー）より、各分科会の報告とまとめのお話を聞きます。後半は、今回のブロック研究会の総括として、ブロック研究会の意義や今後のユネスコ活動の課題などについて深められたらと願っています。

司会・進行 片山 勝氏（長浜ユネスコ協会会長）

パネリスト 安井裕司氏（NPO法人大阪ユネスコ協会理事）

大音裕子氏（川西ユネスコ協会会長）

吉田敦彦氏（京都ユネスコ協会会長）



大ホール

長浜の観光スポット・名所



冬：長浜盆梅展(慶雲館)



秋：鶏足寺の紅葉(木之本町)



春：長浜曳山祭り(4/15 長浜八幡宮)

会場までのアクセス ・問い合わせ先



来場手段

- ・公共交通: JR北陸本線 長浜駅西口から徒歩約7分
- ・自家用車・バス: 豊公園駐車場(市営駐車場)から徒歩約3分
※豊公園駐車場をご利用の場合、駐車券を会場までお持ちください。

お問い合わせ先

長浜ユネスコ協会(主管)
事務局: 長浜市 市民協働部 生涯学習課内
〒526-8501 滋賀県長浜市八幡東町632番地
TEL: 0749-65-6552
メール: unesco@city.nagahama.lg.jp